

組織部速報

2021年 2月 6日
No. 26

JR総連「第43回定期中央委員会」開催される！

<スローガン>

1. 2021 JR総連春闘勝利！コロナ禍に乗じた労働者の解雇・雇止めを許さず、JRグループ労働者の一律賃上げならびに労働条件の維持・向上をめざし、連合・交運労協の仲間と固く連帯してたたかおう！
1. JR北海道の経営自立とJR貨物の存立基盤の確立をめざすとともに、地方ローカル線の切り捨てを許さず、鉄道の全国ネットワークを維持し、鉄道の未来を切り拓こう！経営側の責任追及を許さず安全をすべてに優先する職場風土を確立するためにたたかおう！
1. 改憲反対！安保関連法廃止！原発再稼働反対！辺野古新基地建設反対！国民投票法改正案成立反対！平和とくらしの危機を突破するために、あらゆる戦争とテロに反対し、憲法9条を守り抜くための広範な連帯をつくり出すためにたたかおう！
1. 菅政権の暴走を許さず、平和・人権・民主主義を守り抜くために、あらゆる組織破壊攻撃に抗し、えん罪撲滅、反弹圧、反貧困、反格差、反差別を掲げ、美世志会とともに作り出した連帯の輪を基礎に、JR総連の展望を切り拓くために組織強化・拡大に向けたたたかおう！

1月29日、目黒さつきビルにおいてJR総連第43回定期中央委員会が開催されました。新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言が出されている中ではありましたが、感染リスクの軽減をはかるために在京以外はリモートでの参加とし、参加者は感染対策を充分に実施した上で開催されました。

議長はJR貨物労組関東地本の東條委員が選出され、以下議事が進められました。

まず主催者を代表して挨拶に立った山口委員長は、コロナ禍におけるJR総連のたたかいと2021JR総連春闘について述べられ、特にJR総連春闘については、「①ベア6,000円の要求。②「雇用確保」「定昇確保」「ベア要求」の三つの柱を要求に組み込む。③労連の仲間の賃金・労働条件・職場環境改善を取り組むことなど各単組の課題を踏まえてたたかいをつくり出していく」とし、一方で連合内の足並みがそろっていない中で、統一要求・統一闘争を掲げてたたかうことを明らかにしました。

その後方針などが提起され質疑に入りました。質疑は単組・労連・地協含めて11名が発言しました。貨物労組からは村上書記長が①人事制度の確立にむけた取り組み、②21春闘のたたかいについて、③総団結の取り組みについて、④九州を中心とした7月豪雨災害支援に対するお礼について発言し、また貨物労連から茂木副委員長(京葉労組委員長)が①コロナ禍におけるこの間の労連の取り組み、②貨物労連の人事制度の取り組みなどについて発言しました。また北海道地協からは、貨物労組の北海道地本佐久間書記長から平和の取り組みを中心としてリモートで発言され、関東地協からは関東地本菊地委員長から関東地協内で発生した東労組の組織問題について発言されました。

その後、八幡書記長より総括答弁が行なわれ、全体で方針が承認され委員会は成功裡に終了しました。